

# JEAS News

vol. **19**  
2013 春号

## SECURITY SHOW 2013 特集号



# JEAS News

## 第19号

### 目 次

ごあいさつ	日本万引防止システム協会 会長 山村 秀彦	1
ごあいさつ	経済産業省 商務情報政策局 課長 荒井勝喜	3
SECURITY SHOW 2013 について		4
第2回 JEAS 講習会について		5
第2回電気用品安全法に関するセミナーについて		5
第2回電波に関するセミナーについて		5
小売業における商品ロスの実態に関する調査について		6
第1回 15分間勉強会「防犯什器」に関する商品知識		6
第2回 15分間勉強会「防犯ミラー」に関する商品知識		6
新規加盟企業のご紹介	セコム株式会社、I & T Tech 株式会社	7
万引防止システム (EAS 機器) ご相談窓口について		7
【パブリシティ】EAS 機器導入店表示 POP デザインを一新		8
「EAS ステッカー」及び「EAS 機器導入店表示 POP」の貼付けのお願い		9
【パブリシティ】万引防止システム・ハンドブック第3版		11
日本万引防止システム協会のご案内		12
日本万引防止システム協会 役職一覧・組織図		13
日本万引防止システム協会 会員名簿		表紙ウラ

一昨年発生した東日本大震災の被災者の皆様には心からお見舞い申し上げます。

一日も早い復興を日本万引防止システム協会関係者一同、心からお祈り申し上げます。

---

---

## ごあいさつ



日本万引防止システム協会（JEAS） 会長 山村 秀彦

---

---

平成25年が明け、1ヶ月が経ちました。

日本万引防止システム協会（略称 JEAS）は、お蔭様を持ちまして本年6月に設立12年目を迎えます。この間、会員の皆様をはじめ、関係省庁、関連団体の皆様のご支援とご協力をいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

万引犯罪の状況ですが、警視庁統計を例に挙げますと、東京都の刑法犯と万引の認知件数の関係は、平成14年が301,913件に対し10,423件、平成24年が172,385件に対し17,915件、刑法犯全体の件数は半減しているなか、万引の認知検件数は1.7倍に増加しております。かつては万引といえば少年犯罪と思われていたものが、平成24年の万引の検挙・補導人員は少年が3,195人、高齢者を含む成人が10,338人（うち高齢者が3,321人）となり、今では代表的な成人犯罪になりつつあります。さらに万引から事後強盗に発展するケースが増えており、憂慮すべき事態となっております。この状況を打破するには4つの視点から考える必要があると感じております。

1 点目は、万引問題は国民皆の問題である、という社会機運の醸成

「万引き」という言葉から連想される「少年期の一過性の犯罪」の印象が強いこと、お店側も「お客様を疑う」ことになるとの躊躇から、昨今の悪質性や被害額の膨大さにも拘わらず、なかなか進展しない状況にありました。しかしながら、最近の官民一体となる活動を通じ、万引犯罪が小売業の収益管理という側面だけでなく、地域の青少年健全育成や安心・安全な街づくりという社会的な側面からも重要であること。また万引犯罪を起させない取組みは、売場を提供する小売業だけでなく、商材メーカーや物流も含めた SCM 全体で取組む必要があるということ。つまり、万引問題は皆の問題である、と認識されはじめています。

2 点目は、実態調査に基づく実行力のある対策

当協会では、(株)日本能率協会総合研究所の協力を得て、EASの導入が進んでいない3業種10社に対してヒアリング調査を行いました。やはり、「お客様を疑う」というようなアプローチは積極的には行えないという声が多数ありました。ほんとうに来店客はそのように考えているのでしょうか。先日行われた第7回「東京万引き防止官民合同会議」の席上、東京都商店街振興組合連合会から、万引に関する調査報告があり、その中で保護者（母親）が望むハード面の万引犯罪防止対策の中で、EASがもっとも強い要望がある、との説明がありました。つまり、「たぶん」ではなく、調査に基づいた正しい理解と実行力のある対策が求められています。

3点目は、法令順守と規格の統一を図るための働きかけ

昨年11月には経済産業省のご協力で得て「電安法セミナー」を開催しました。本年2月には総務省のご協力で「電波に関するセミナー」を行いました。さらに設置基準や運用面を学ぶためのJEAS講習会を一昨年引き続き昨年10月に実施しました。そして現在、技術基準委員会ではEASの規格作りを行っており、この中でタグの検知測定方法の統一基準を作っています。

4点目は、点検と改善

東京万引き防止官民合同会議では、万引き防止対策「モデル店舗」の認定を行っており、その審査内容には①EAS等の設置場所、②タグ検知や電源の確認、③タグ付け状況、④アラーム時の声かけの4項目が含まれております。EASはとりあえず立てておけばよい、という誤った認識がありますが、それでは万引犯罪を継続的に防止することは不可能です。「モデル店舗」認定制度はそのような反省から生まれました。同時にそのような状態を放置している原因は、機器を供給している側にもあるのだと自覚しなければなりません。対策の一環として、3月に行われるセキュリティショー2013では、(株)セブン&アイ HLDGS.のセキュリティのご担当をお招きし「万引対策がすすむ10のポイント」という演題でご講演いただく予定です。

日本万引防止システム協会は、万引犯罪撲滅を目指す唯一の民間団体として、「万引犯罪をさせないお店作り」の推進を通じた地域社会の安全・安心の維持・向上こそ、「犯罪のない社会の実現」につながるとの信念の基を、所轄官庁はじめ関連諸団体のご支援をいただきながら活動して参ります。引き続きご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

---

---

## ごあいさつ

経済産業省 商務情報政策局 情報通信機器課  
課長 荒井 勝喜

---

---

日本万引防止システム協会がEAS機器やタグ等を取り扱われる事業者の団体から、防犯カメラや防犯ミラーの販売事業者、さらには警備業の方々を加えた万引犯罪防止のソリューション事業者の団体に成長されてきていることは大変喜ばしいことであると同時に、現代的な社会経済問題の解決に関わる産業として必然的な流れなのではなかったのかと拝察しています。

経済産業省の商業統計調査によれば、わが国小売業の年間販売額は昭和33年の3兆6千億円から平成19年の134兆7千億円へと、およそ34倍の規模にまで拡大していますが、この小売業の急成長の原動力となったのは昭和30年代中頃から一般化し始めたセルフサービス方式の導入であったことは明らかで、万引犯罪の増加というのはまさにそのセルフ販売への脅威であるわけです。

街の中小小売店の他に大型の小売業といえば百貨店くらいしか無かった当時と比較して、総合スーパー、食品スーパー、コンビニエンスストア、家電量販店、ホームセンター、ドラッグストアと多種多様な業態が覇を競う今日、万引犯罪も悪質化、組織化され、それに対する防止対策も最早EAS機器だけではなく、様々な機器やシステムの組み合わせで対応せざるを得ない事態となっていると伺っています。また、万引防止に関する体制も小売業団体のみならず、警察当局、地方自治体、地域防犯団体、教育機関等との連携関係の上で構築されなければなりません。

このように、多様な事業者の組み合わせ、様々な組織体の連携のためにこそ活用すべきなのが現代の進んだIT技術だと思えます。経済産業省は政府に設置されているIT戦略本部のもと、ITのより良い活用を通じて新たな生活スタイルの創造やダイナミックな経済活動の実現を目指し、様々な政策を立案・実施しているところです。

お聞きするところによれば、協会ではいよいよソースタギング委員会を実働させ、わが国における具体的な推進に踏み出された由、誠に喜ばしい事の一語に尽きます。欧米の流通業では常識となっているソースタギングに関して、わが国は一日も早く遅れを取り戻さねばなりません。とは言っても推進の過程では様々な困難が待ち受けていることは目に見えています。製配販事業者の協調、要するコストの分担の仕組み、消費者の理解、警察当局の協力等、様々なハードルを乗り越えて軌道に乗せてほしいものです。

ところで、経済産業省では日本企業が活躍する東アジア地域において、より円滑で自由な経済活動を実現し、東アジアの活力をわが国の成長に取り込んでいくことを目指して経済連携強化に取り組んでいるところですが、私の良く知るインドネシア、ラオス、ミャンマー、タイ、ベトナム等のASEAN10カ国は、チャイナ+ワンの生産基地としてのみならず、今後急速に増大する消費市場として、具体的な取り組みを深化させていく必要があります。

協会会員企業の皆様を始め、わが国企業の事業進出に対してはでき得る限りの支援をさせて頂く準備がありますので、今後の積極的なお取り組みを期待しております。

※ソースタギングとは、製造段階で商品パッケージの内側に商品管理タグを装着すること。セキュリティ性の強化と店舗でのタグ付け作業削減を目的とする社会総ぐるみのインフラです。

---

# SECURITY SHOW

---

日本万引防止システム協会 (JEAS) は、平成25年3月5日 (火) ~ 3月8日 (金) の4日間、東京ビックサイトで開催される 第21回セキュリティ・安全管理総合展「SECURITY SHOW 2013」へブース出展します。ブースは東3ホール 小間番号 SS3320です。

今回は、日本万引防止システム協会の活動内容と共に、最近の万引き犯罪事情のパネル、ソースタギングに関するパネル展示を行います。



展示ブースに加え、3月7日 (木) にはセキュリティショーステージにて「万引対策がすすむ10のポイント」と題して、セブン&アイ HLDGS より講師をお招きし、万引対策に対して、改善の意欲があるものの、なかなか具体的な成果につながらないお店に対して、その原因をひも解きながら、改善の糸口を探るセミナーを開催します。来場者先着100名様には、「万引防止システムハンドブック」定価1000円 (税別) を進呈いたします。

## 【コンセプト】

社会総ぐるみで万引犯罪撲滅をめざそう  
～「守る防犯」から「攻める防犯」へ～

## 【ご説明のポイント】

万引防止システムは、商品ロスを防止する経済的な役割と、身近な人の初発型犯罪である「万引」をさせないという社会的な役割があります。

JEAS は万引防止システムを製造・販売及びサービスを提供する企業の業界団体であり、行政機関、関連団体とともに、万引撲滅活動の一翼を担っております。





---

## 日本万引防止システム協会主催「第2回JEAS講習会」について

---

日本万引防止システム協会では、平成24年10月25日（木）に、万引防止システムを販売する上で必要な、万引防止の正しい知識と心構えを身につけていただくことを目的とした、第2回JEAS講習会を開催いたしました。

当日は、20名もの方が受講され、4時間の講習のあと、テストを受けられ、皆さんが優秀な成績を収めることができました。

また、オブザーバーとして、一般社団法人全国警備業協会教育事業部 教育・企画課のご担当、警視庁生活安全部生活安全総務課生活安全第二係の皆様もご参加いただきました。



---

## 第2回電気用品安全法に関するセミナーについて

---

日本万引防止システム協会では、平成24年11月7日（水）に、「第2回電気用品安全法に関するセミナー」が開催され、電気用品の安全性を確保するための法内容と、今回の法改正のポイントについて、経済産業省商務流通保安グループ製品安全課のご担当より具体的な説明を頂戴しました。多数の質問があり、たいへん盛り上がりしました。



---

## 第2回電波に関するセミナーについて

---

日本万引防止システム協会では、平成25年2月14日（木）第2回電波に関するセミナー「安心して電波を利用するために」が開催され、電波についての関係法令や安全性の知識、更にはこれらに関する国際動向について、総務省総合通信基盤局電波部電波環境課電波監視官より説明を頂戴しました。参加の皆様は「EASに関する電波法施行規則」を今後も遵守することを確認しあいました。



## 2012年度 「小売業における商品ロスの実態に関する調査」

日本万引防止システム協会では、万引防止の取り組み状況に関する調査として、今年度は、日本能率協会 総合研究所に依頼して、万引防止装置の導入率が他の業界と比べて低い3業界10社に対して、実際に訪問面接し、ヒアリング調査しました。(調査期間：2012年9月24日～10月19日)

調査内容は、①万引被害状況、②万引対策、③万引防止システムの認知、④要望期待など、の4項目です。

いただきました大変貴重なヒアリング内容を元に、今後これらの業界への万引防止へ寄与するため、日本万引システム協会として、活用していく所存です。

日本万引防止システム協会 様

小売業における商品ロスの実態に関する調査  
—万引防止の取組状況に関する調査—

<報告書(案)>

2012年11月20日

JMAR (株)日本能率協会総合研究所

## 第1回15分間勉強会「防犯什器」に関する商品知識

平成24年11月20日(火)の第4回JEAS理事会から、毎回15分勉強会を開催することに決定しました。初回は万引防止システムハンドブックの32頁から34頁にある「防犯什器」に関する商品知識を学びました。写真は理事講師を務められた(株)岡村製作所の雑賀真良氏の説明に聞き入る皆様の様子です。政策・研究委員会の起案で実現しました。



## 第2回15分間勉強会「防犯ミラー」に関する商品知識

平成25年1月22日(火)の第5回JEAS理事会の15分間勉強会は、万引防止システムハンドブックの31頁から32頁にある「防犯ミラーの考え方と使い方」に関する商品知識を学びました。

写真はコミー株式会社の野村哲氏よりミラーの破壊テストの説明の様子です。

ミラー破壊テストの動画 <http://www.komy.co.jp/hakai/>





---

## 新規加盟企業のご紹介

---

新規に当協会へ加盟いただきました企業様をご紹介します。

セコム株式会社  
山本 高士様

**SECOM** 信頼される安心を、社会へ。

セコムは、日本で初めての警備保障会社として1962年に創業。わが国初の企業向けオンライン安全システムに始まり、ホームセキュリティシステムなど、時代を先駆けたさまざまな安全システムの開発・商品化を行ってまいりました。

EASにつきましても1996年から提供を開始しました。本協会には賛助会員として2003年より入会いたしましたが、このたび正会員となりました。今後も業界の健全な発展と安全で豊かな国民生活の実現に向けての一助になればと考えております。

I&T Tech 株式会社  
田口 秀勝様

**I&T Tech**  
Information & Tag Technology

弊社は自鳴式万引防止装置による世界初の新しい音センサユニットをコア技術とする次世代システムの開発、製造、販売を行っています。従来の AM ラベル式万引装置とも連動したシステムを輸入販売致しております。Cross Point 社製 AM システムはクラウドサービスを利用し各装置のリモート管理や稼働状況をリアルタイムで見ることが出来ます。又、入店情報もレポートされ販促の効果も期待できます。今後とも新しい技術にチャレンジし多くのお客様へ「ご提案」をして参ります。

---

## 万引防止システム ご相談窓口の開設について

---

日本万引防止システム協会では、万引防止システム全般に関するご相談の窓口を開設しております。ご相談窓口では、皆様からの万引防止システムに関するご質問、ご相談、苦情などをお受けしております。

ご連絡先は、下記の日本万引防止システム協会 事務局宛となります。

### 【ご相談窓口】

日本万引防止システム協会 事務局

住所：〒160-0004 東京都新宿区四谷1-2-8 中村ビル 4F

電話：03-3355-2322 ファックス：03-3355-2344

E-mail: info@jeas.gr.jp

ホームページ : <http://www.jeas.gr.jp/>

# 【パブリシティ】

EAS 機器導入店表示 POP デザインを一新

セキュリティ産業新聞 2012年10月10日

## POPデザイン一新、100%貼付推進 総務省、厚生労働省も後援、関係団体と連携

日本万引防止システム協会

日本万引防止システム協会（J.E.A.S.、東京都新宿区、山村秀彦会長、Tel.03・3355・2322）は、貼付率が低かった「EASPOP」のデザインを一新。総務省・厚生労働省の後援とともに、関係団体とも連携してEAS機器設置の小売業及び図書館に向けて1



付率拡  
大を目  
指す。

00%貼付への取り組みを推進する。万引犯罪の増加などで増加するEAS機器とベイスメーカー等医療機器装着者の円滑な共生を背景に、J.E.A.S.では、平成14年から協会加入各社共通の「EASステッカー」をEAS機器本体に貼付する取り組みを開始。EAS機器の設置場所の明示を進め、昨年の貼付割合は95・9%。19年からは稼働店舗を示す「EASPOP」を作成。マニュアルに沿って、EAS設置近辺の店頭貼付に取り組んでいるが、貼付率の低さが課題だった。同協会では「EASステッカー」、「EASPOP」の貼付100%促進課委員会を設置。委員会による調査の結果、貼付率が低い「EASPOP」のデザインを一新。EAS機器設置の小売業、図書館向けにステッカー及びPOPの100%貼付を改めて依頼する。J.E.A.S.、日本心臓ベイスメーカー友の会、日本不整脈デバイス工業会の連携、総務省・厚生労働省からの後援も得たこととして、貼付率拡大を目指す。

日経 MJ 2012年10月10日 （日本経済新聞社 記事利用許諾 No.30024001）

# 万引防止機 設置を明示

## システム協会 医療機器に配慮

日本万引防止システム協会（東京・新宿）は万引防止（EAS）機器の設置場所を明示するステッカーの貼付を小売業者などに徹底する。電波を発するEAS機器は医療機器の動作に影響を及ぼす場合があるため、植込み型心臓ペースメーカーなどを利用する来店客に周知する狙い。店頭販促（POP）も刷新し、貼付率を引き上げる。

EAS機器の設置場所が分かりやすいように、「EAS稼働中」と大きく記した新しいPOPを作成した。ゲート位置近

設置場所が分かりやすいように「EAS稼働中」と大きく記したPOPに刷新した

このため12年3月に協会内に「貼付100%促進委員会」を設置。EAS機器を利用する小売店などにステッカーやPOPを改めて貼るよう依頼する。国内にEAS機器は約20万台が普及。ベイスメーカーなどの医療機器を装着している人は約50万人いるといい、安心して買物ができる対応が求められていた。

平成24年9月に「総務省、厚生労働省」の後援をいただきました。

EAS 機器ご使用者様各位

平成24年9月20日

日本万引防止システム協会  
日本心臓ペースメーカー友の会  
一般社団法人日本不整脈デバイス工業会  
後援：総務省、厚生労働省

## 「EAS ステッカー」及び「EAS 機器導入店表示 POP」貼付けのお願い

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、日本万引防止システム協会各社は平成14年(2002年)12月より、加入各社共通のペースメーカー等医療機器装着者に対し、EAS 機器の設置場所を明示するための「EAS ステッカー」貼付を総務省・厚生労働省のご指導のもと進めてまいりました。(経過・指針等裏面参照下さい)

更に、日本ペースメカ友の会及び(一社)日本不整脈デバイス工業会の要請により EAS 機器の存在を示すための「EAS 導入店表示 POP」(以下、EASPOP)を製作し、EAS 機器の設置場所近辺に貼付いただくよう、平成19年(2007年)7月より実施してまいりました。

ところが昨年、小売業店頭での「EAS ステッカー及び POP」の貼付状況の調査が医療関係者により実施されたところ半分程度の貼付率であることが判明いたしました。

ペースメカ等医療機器装着者やご家族の皆さんが安心してお買い物ができるように、日本万引防止システム協会としては、事の重要性を鑑み本年3月に「EAS ステッカー」及び「EASPOP」の貼付100%促進化委員会を設置し、下記のような施策を実施してゆきますので、EAS 機器のご使用者の皆さまには100%貼付にご協力をお願い申し上げます。

敬具

### 記

1. 「EAS ステッカー」を一本一本のゲートの内側に、より目につき易いように致します。
2. 「EAS ステッカー」の貼付位置の高さを0~1500mmとし、出来るだけ目につき易い位置に貼ります。
3. ゲートに宣伝用のカバーを被せる場合は、「EAS ステッカー」はカバーの上から貼ることをお願いします。窓を開けるか又は下を空ける等で「EAS ステッカー」を見える工夫をお願い致します。
4. 「EASPOP」は貼付し易いデザインに変更しました。「EASPOP」はゲートの設置場所の近くの正面入口等にお貼りいただくようお願い致します。
5. JEAS 各社は設置完了報告書に「EAS ステッカー」の貼付完了をチェック項目として入れ、ご使用者の皆様の確認をいただくようお願い致します。
6. JEAS 各社は設置完了報告書に「EASPOP」の貼付完了をチェック項目として入れ、ご使用者の皆様の確認をいただくようお願い致します。
7. 店舗訪問時や保守対応などで、ステッカーや POP が貼られていないゲートを見かけた場合は、ステッカー又は POP をご使用者の皆様にお渡ししますので、貼付いただくようお願い致します。



EAS ステッカー



新 EAS 機器導入店表示 POP

### 総務省指針

ペースメーカー等医療機器と EAS 機器の関係については、平成14年（2002年）1月厚生労働省より、総務省・経済産業省経由で“医薬品・医療用具等安全性情報 No. 173の3-(4)に基づき、EAS 機器製造・販売各社、およびその利用者である小売店のみなさんに対して、同機器の設置場所を明示するよう”協力要請がありました。（一社）日本不整脈デバイス工業会及び日本万引防止システム協会としては、（社）電波産業会の「EAS 機器が植込み型心臓ペースメーカー等に及ぼす可能性についての調査研究」に参加し、ペースメーカー48機種・植込み型除細動器10機種と EAS 機器40機種総当たりテストを行いました。その結果「植込み型心臓ペースメーカー等への電波の影響を防止するための指針」として、次のことが示されました。

- ① 植込み型心臓ペースメーカー等装着者は、EAS 機器が設置されている場所及び「EAS ステッカー」が貼付されている場所では、立ち止まらずに通路の中央をまっすぐに通過すること。
- ② 植込み型心臓ペースメーカー等装着者は、EAS 機器の周辺に留まらず、また、寄りかかったりしないこと。
- ③ 植込み型心臓ペースメーカー等装着者は、体調に何らかの変化があると感じられる場合は、担当医師に相談すること。
- ④ 本調査研究会は、植込み型心臓ペースメーカー等に対する EAS 機器の干渉を軽減するため、今後、更なる安全性の検討を関係団体と行っていくことを推奨する。

指針に関するお問い合わせ先：総務省電波環境課

### 日本万引防止システム協会

設立：平成14年（2002年）日本 EAS 機器協議会として発足、平成23年に日本万引防止システム協会と名称変更した。

設立趣旨：EAS 機器を製造・販売する企業の業界団体であり、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止という産業的・社会的役割を果たすべく、行政機関、関連業界団体と連携をとり活動する。

所在地：東京都新宿区四谷1-2-8 中村ビル 電話：03-3355-2322

### 日本心臓ペースメーカー友の会

設立：昭和45年（1970年）

設立趣旨：心臓ペースメーカーによって命を救われたことを認識し、「感謝」「報恩」「奉仕」の精神に基づいて会員の適切な健康管理、並びに健全快適な「QOL」（生活の質）の確保を図り社会福祉の向上に貢献する。

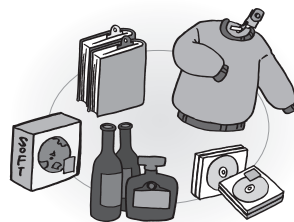
所在地：東京都世田谷区経堂1-15-20-200 電話：03-3420-1200

### 一般社団法人日本不整脈デバイス工業会

設立：昭和61年（1986年）日本医療機器工業会ペースメーカー協議会として設立。平成21年一般社団法人日本不整脈デバイス工業会と名称変更

設立趣旨：人工心臓ペースメーカーの普及に伴い、心臓ペースメーカー装着の皆様の健康と福祉の増進をはかるとともに、業界の健全な発展を目的に設立された。

所在地：東京都文京区本郷2丁目39番5号 電話：03-5840-9805





# 【パブリシティ】

## 万引防止システム ハンドブック 第3版

平成24年10月29日（月）より、ハンドブック制作委員会が編集した「万引防止システム ハンドブック 第3版」の販売を開始致しました。今回の改訂は、最近の万引犯罪や防止機器の最新データを更新すると共に、防犯カメラ、ミラー、セキュリティケースや什器、顔認証、警備を含む万引防止全般の対策を包括した内容となっております。同内容は「セキュリティ産業新聞平成24年10月25日号」や「警備新報平成24年10月25日号」に掲載されました。ご注文方法は協会ホームページをご参照ください。



セキュリティ産業新聞2012年10月25日

### 4年ぶりに内容改訂 「万引防止システムハンドブック」発行

日本万引防止システム協会（JEAS）

日本万引防止システム協会（JEAS）は、万引防止システムハンドブックの改訂作業を完了し、10月25日、第3版の発行を発表した。

本ハンドブックは、万引防止システムハンドブックの改訂作業を完了し、10月25日、第3版の発行を発表した。今回の改訂は、最近の万引犯罪や防止機器の最新データを更新すると共に、防犯カメラ、ミラー、セキュリティケースや什器、顔認証、警備を含む万引防止全般の対策を包括した内容となっております。同内容は「セキュリティ産業新聞平成24年10月25日号」や「警備新報平成24年10月25日号」に掲載されました。ご注文方法は協会ホームページをご参照ください。

警備新報 全国専門紙 万引防止システム協会

### 万引に関する10の誤解

日本万引防止システム協会「万引防止システムハンドブック」より

万引防止システムハンドブックは、万引防止に関する10の誤解を解説しています。誤解の内容は以下の通りです。

1. 万引は、現金を盗むだけではない。商品も盗む。
2. 万引は、誰でもできる。誰でも防犯対策がとれる。
3. 万引は、防犯対策がとれないから起こる。
4. 万引は、防犯対策がとれるから起こる。
5. 万引は、防犯対策がとれるから起こる。
6. 万引は、防犯対策がとれるから起こる。
7. 万引は、防犯対策がとれるから起こる。
8. 万引は、防犯対策がとれるから起こる。
9. 万引は、防犯対策がとれるから起こる。
10. 万引は、防犯対策がとれるから起こる。

区分	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
刑法犯認知件数	2,443,470	2,795,612	2,853,739	2,769,199	2,682,767	2,209,293	2,051,229	1,908,038	1,818,923	1,703,044	1,585,858	1,480,765
万引き認知件数	112,359	126,119	140,002	146,308	158,020	150,972	147,115	141,015	145,478	148,892	143,371	141,562
万引きの割合	4.6%	4.5%	4.9%	5.3%	5.9%	6.8%	7.2%	7.4%	8.0%	8.8%	9.4%	9.6%

（※統計局データより）

警備新報2012年10月25日



## 日本万引防止システム協会のご案内

日本万引防止システム協会は、EAS 機器等の万引防止システムを製造・販売する企業の業界団体であり、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止という産業的・社会的役割を果たすべく、行政機関、関連業界団体とともに連携をとり活動しています。

### ■目的

本会は、万引防止システムの産業的、社会的な役割を果たすために、万引防止システムの円滑な普及・発展に資する制度・政策・計画等の建議と実行、行政機関・関連業界団体あるいは生活者等の間での認識向上、相互の間の調整、万引防止システムに関する内外の情報収集と提供を行い、業界の健全な発展と安全で豊かな国民生活に寄与することを目的とする。

### ■会員の種別

#### (1) 正会員

本会の目的に賛同して入会した次の企業および団体とする

- 万引防止システム製造ないし販売している企業および団体
- 今後、万引防止システムを販売ないし提供しようとする企業および団体
- 万引防止に関連するサービスを提供する業界（警備業等）や関連業界（防犯カメラ設備等）に属する企業など
- 万引防止システムを販売ないし提供する企業に対し商品や部品の供給事業を行う企業および団体

#### (2) 賛助会員

本会の事業を賛助するために入会した次の企業および団体とする

- 小売業に商品 供給しているメーカーおよび 物流企業
- 小売業にサービスを供給している企業および団体

#### (3) 特別会員

本会の目的に賛同し、協力をする団体会員

### ■会費（平成23年 6 月13日改訂）

会員ランク		年間売上金額	年会費
正会員	1	40億円以上	300千円
	2	20億円以上、40億円未満	250千円
	3	10億円以上、20億円未満	200千円
	4	5億円以上、10億円未満	150千円
	5	3億円以上、5億円未満	110千円
	6	1億円以上、3億円未満	95千円
	7	1億円未満	80千円
賛助会員			30千円

基本は万引防止システム関連の年間売上金額に応じた年間会費となります。

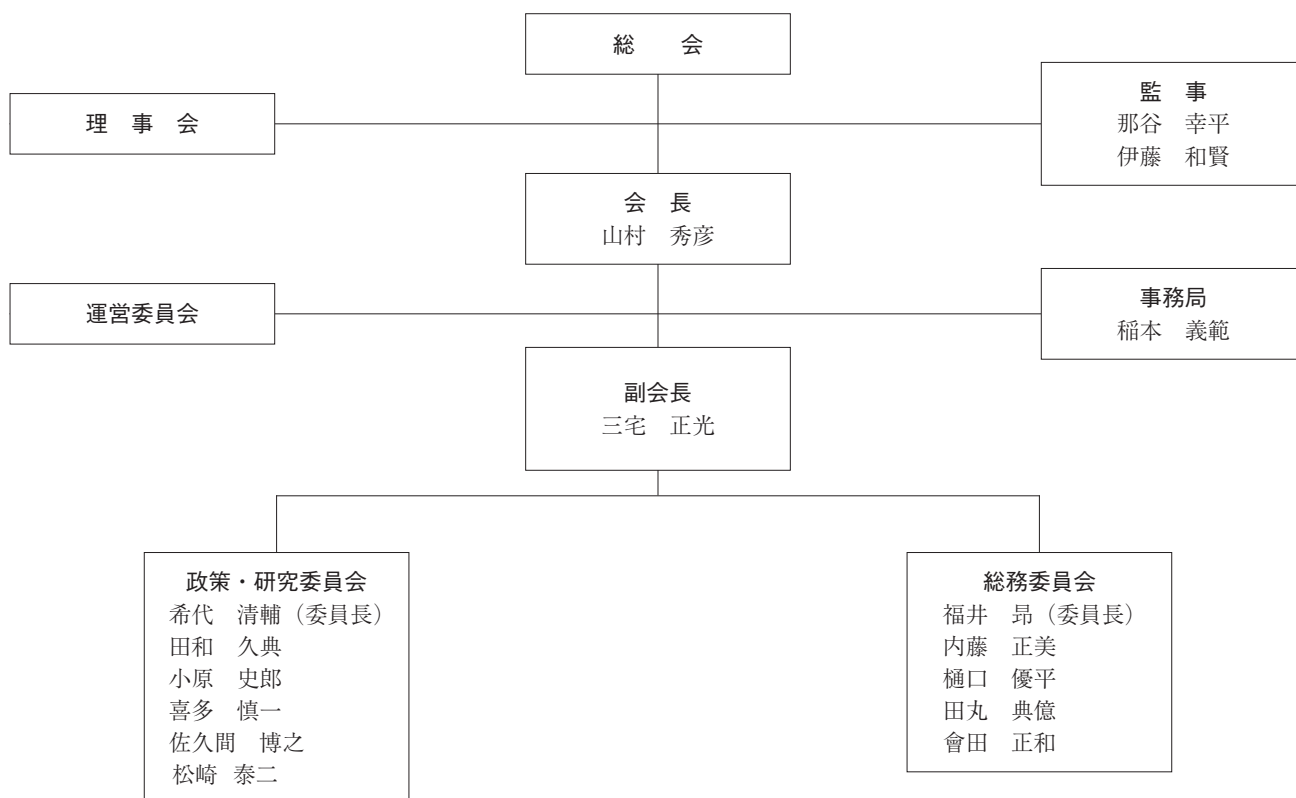
### 新規入会企業および団体を募っています。

- ◎万引防止システムを製造ないし販売している企業の皆様
  - ◎万引防止対策を担当している警備業や防犯カメラ設備に属する企業の皆様
- 入会に関するお問い合わせは JEAS 会員企業または事務局までお願いします。

## 平成 24 年度 日本万引防止システム協会 役職一覧

	No	組 織	社名・団体名	役職名	氏名
理 事	1	会長	高千穂交易(株)	相談役	山村 秀彦
	2	副会長	(株)三宅	代表取締役社長	三宅 正光
	3	政策・研究委員会	(株)チェックポイント システムジャパン	営業本部長	希代 清輔
	4	政策・研究委員会	ACTUNI(株)	代表取締役社長	小原 史郎
	5	政策・研究委員会	アイデックコントロールズ(株)	取締役営業担当	田和 久典
	6	政策・研究委員会	ユニパルス(株)	営業本部ロジスティクス 営業部次長	喜多 慎一
	7	総務委員会	(株)S-Cube	顧問	福井 昂
	8	総務委員会	西武産業(株)	取締役営業部長	樋口 優平
	9	総務委員会	チェスコムアドバンス(株)	常務取締役	内藤 正美
	10	総務委員会	タカヤ(株)	事業開発本部RF事業部 営業部SS担当マネージャー	田丸 典億
	11		住友スリーエム(株)	トラフィック セーフティ・セキュリ ティ事業部 事業部長	飯田 裕一
監 事		監 事	(株)ジーネット	セキュリティシステム部 マネージャー	那谷 幸平
		監 事	松尾産業(株)	顧問	伊藤 和賢

## 日本万引防止システム協会組織図



平成25年1月22日現在

# 会 員 名 簿

## 企業・団体名

アイアンドティテック株式会社  
アイデックコントロールズ(株)  
ACTUNI(株)  
(株)S-Cube  
エム・ケー・パピック(株)  
(株)岡村製作所  
(株)キャトルプラン  
九州日本電気ソフトウェア(株)  
(株)コージン  
国際警備(株)  
コミー(株)  
(株)ジーネット  
シグマ(株)

## 企業・団体名

住友スリーエム(株)  
西武産業(株)  
セコム(株)  
高千穂交易(株)  
タカヤ(株)  
チェスコムアドバンス(株)  
(株)チェックポイントシステムジャパン  
(株)店舗プランニング  
(株)トスカバノック  
松尾産業(株)  
(株)三宅  
ユニチカ(株)  
ユニパルス(株)

(平成25年1月22日現在)

計26社

## 【賛助会員】

企業・団体名  
募集中

## 【特別会員】

企業・団体名  
一般社団法人 全国警備業協会  
NPO法人 全国万引犯罪防止機構  
タグ&パック事務局  
一般社団法人 日本自動認識システム協会  
公益社団法人 日本防犯設備協会

50音順 (平成25年1月22日現在)

## 日本万引防止システム協会 会報 第19号

発行日：平成25年2月22日  
発行人：山村 秀彦  
発行：日本万引防止システム協会 事務局  
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-2-8  
TEL 03-3355-2322 FAX 03-3355-2344